

# 若手果樹生産者の育成および定着支援

令和5～6年度

【七飯町果樹組合若手果樹生産者（4戸（5名））】

（地域第2係・課題番号7）

## 1 課題の背景

七飯町果樹組合は現在27戸が在籍しているが、年々減少傾向となっている。また、高齢化が進み若手世代が50歳代となっている。近年、後継者等が徐々にではあるが就農しつつある。しかし、農業経験がない就農者が多く、また、若手が学ぶ研修の機会や横の繋がりも少ない。

そこで、若手生産者の育成や地域への定着支援が必要となっている。

## 2 活動内容

### 推進事項：若手果樹生産者の技術力向上

令和5年度の活動内容

| 時期    | 活動内容      | 勉強内容          | 出席者  |
|-------|-----------|---------------|------|
| 4月7日  | 果樹若手の会設立  | 年間計画、生育期節調査方法 | 5人   |
| 5～1月  | 若手勉強会     | 病害虫予察調査方法(4回) | 延べ15 |
| 2月14日 | 七飯町果樹学校参加 | せん定講習会、栽培講習会  | 4    |
| 2月19日 | 鳴川防除組合参加  | R6年度防除暦検討     | 3    |
| 2～3月  | せん定勉強会    | りんごのせん定方法     | 4    |
| 6～9月  | 病害虫予察調査   | モモシクイガ等の予察調査  | 3戸   |



写真 収穫適期判定のための果実分析方法の学習(9月)

1年目は、りんご園に発生する病害虫の診断、発生予察調査方法、フェロモントラップ設置による予察調査の実施を中心に活動を行った。

## 3 活動成果

### ★病害虫診断、予察調査方法の習得

(現況：0戸 → 目標：4戸 → 実績：3戸) 達成率75%

#### ◎七飯町果樹若手の会の設立

十数年ぶりに果樹生産者の後継者や新規参入者等により学習組織「果樹若手の会」を設立することができた。



#### ◎年間を通じた学習活動と横の交流の創出

- ・勉強会の開催により、りんご病害虫の生態および診断について学習することができた。夫婦での参加などもあり意欲の高さが伺われた。
- ・モモシクイガ、スモモヒメシクイのフェロモントラップ設置による発生予察調査の実施では、4戸で設置したが6～9月まで期間継続して調査できたのは3戸であった。対象害虫の見分け方、5日間隔の継続した調査で各園地での発生消長を把握し理解することができた。



## 4 今後に向けて

次年度も継続して技術力向上や組織の活動支援を行う。